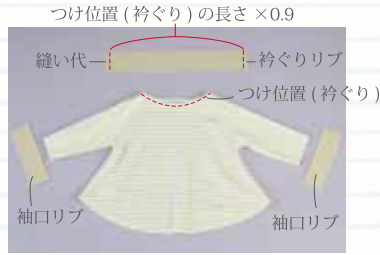


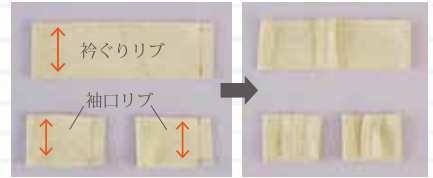
衿ぐり・袖口の始末の応用編

<リブの縫い方 (衿ぐり・袖口)>

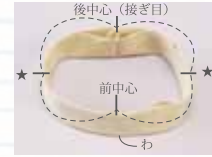
※リブの寸法: つけ位置の長さ (衿ぐり) × 約 0.9 + 縫い代 (生地への伸び具合や、お好みに合わせて調節してください。)



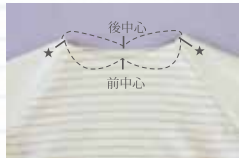
※こちらは部分縫いの説明のため
衿ぐりと袖口のリブつけ部分のみ
説明します。



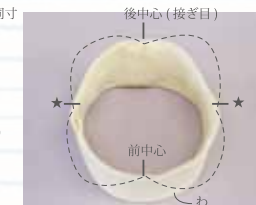
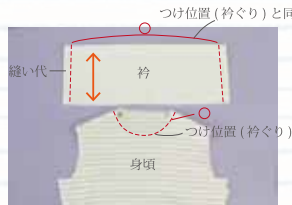
①リブを用意する ①-1 リブを中表に合わせ端を縫い、縫い代を割る



①-2 出来上がりで外表に折り、
形を整え、4等分の合印をつける



<ハイネックの場合> (伸びにくいニット生地はおすすめしません)



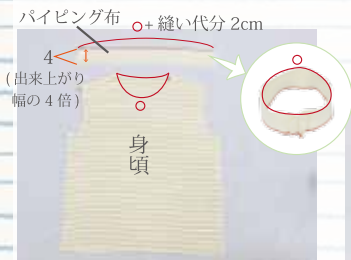
ハイネックの衿の寸法
= つけ位置の長さ + 縫い代

① リブの縫い方①を参考に衿を
作る。(頭を通してサイズを確認)

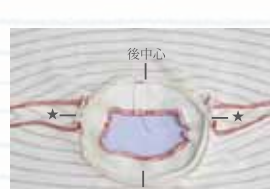
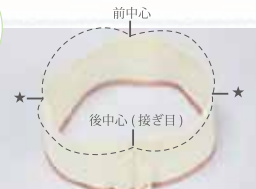


<衿ぐりをパイピング処理する場合>

※こちらは部分縫いの説明のため
衿ぐりのパイピング部分のみ説明します。



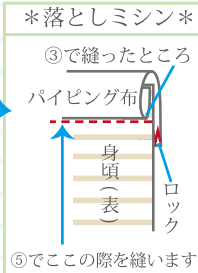
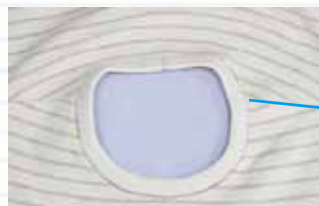
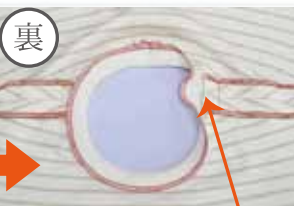
※衿ぐりの切り口の寸法を測るときは、
平らに置いて、生地を伸ばさないように測ります。



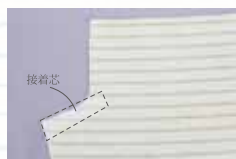
① 衿ぐりの切り口の寸法と
パイピング布の長さを同寸でとる

② パイピング布を輪に縫い、
合印を入れる。

③ 身頃とパイピング布を中表に
合わせ、待ち針でとめ、一周縫う



<ボトルネックの縫い方> (伸びにくいニット生地はおすすめしません)



※Tシャツの縫い方の基礎 ③~⑤を参考に